

地域社会とともに

日本での社会貢献活動

被災地に無償で貸し出したカラオケが地域社会に貢献

被災地でニーズが高いカラオケ機器の無償貸し出しを実施

通信カラオケ事業を展開するブラザー工業の子会社、株式会社エクシングでは、2011年の東日本大震災以降、カラオケを通じ被災地支援に取り組んでいます。なかでも、2012年3月より公益財団法人国際開発救援財団(以下、FIDR)を通じて支援を続けているのが、岩手県山田町でのカラオケ機器の貸し出しです。機器の設置などの運用はFIDRに行ってもらい、機器の提供、メンテナンスをエクシングが無償で行っています。

山田町では、いまだ仮設住宅に暮らす人々が多く、カラオケによる交流が地域コミュニティを失った人々を結びつけ、高齢者の方々への福祉サービスとしても重要な役割を果たしています。

2015年3月までの3年間で、延べ1万人以上に利用していただくことができました。利用者の方々からは「皆と会えるのが楽しみ。」

終わっても、次の会を楽しみに待っている」「ストレス解消につながっている」「知らない人同士がカラオケを通じて仲良くなっている」といった声をいただき、歌うことが心と体の健康に役立ち、人と人をつないでくれることを改めて実感しています。FIDRの担当者からは「仮設住宅で制約のある暮らしが続く方々にとって、カラオケで一緒に歌って笑う機会は欠かせない生活の楽しみのひとつとなっています。復興にはまだ数年を要しますが、お借りしているカラオケ機器を今後もフルに活用し、地域の人々が前向きに"今"を乗り切っていくためのお手伝いをさせていただきたいと思っております」と支援継続への思いを伺いました。

2014年6月にはエクシング代表取締役社長の吉田が山田町を訪問し、利用状況を視察。仮設住宅で暮らす人々の現状とカラオケを楽しんでいらっしゃる様子を目の当たりにし、エクシングからの貸し出し継続を決定しました。

被災地の復興に貢献したいという思いは、ブラザーグループ共通の思いです。今後もグループが持つ資源を最大限に活用しながら、被災地のニーズを受け止めた復興支援活動を続けてまいります。



カラオケを楽しむ被災地のみなさん



カラオケ大会で挨拶するエクシング吉田社長

地域社会とともに

日本での社会貢献活動

チャレンジ精神あふれる若手起業家を支援する「東海若手起業塾」

「東海若手起業塾」

近年、日本では多様な社会的課題の解決や地域の活性化などにビジネスとして取り組む若者が増えています。しかし、ビジネスを成長させるための事業経験や人的ネットワークが不足しているために、さまざまな経営問題に解決策を見出せないこともあります。そこでブラザー工業は、2008年、本社所在地である東海地域の若手起業家を支援するために、起業家支援に取り組む国内の複数のNPOが協働で運営する「東海若手起業塾」への協賛を開始し、2015年3月までに合計32名の起業家を支援しました。この塾では、支援を希望する起業家に対して、事業戦略検討会を開催したり、消費者とともに製品開発する機会を提供したりするなど、それぞれの事業を成長軌道に乗せるためのさまざまな活動を実施しています。2015年5月には、第8期の支援対象者が募集されました。8月の選考会にて支援対象者が選考された後、2016年3月の最終報告会までの7か月の期間「東海若手起業塾」の実行委員会とともに、ビジネスモデルや事業戦略の質の向上を目指します。



東海若手起業塾に参加した若き起業家

「東海若手起業塾」の支援活動にブラザー従業員が参加

2012年度からは、ブラザーの従業員が「プロボノ*」として参画し、会社の業務で培ったスキルを支援に生かすとともに、起業家のチャレンジ精神に触れる活動をスタートしました。

2014年度は、選考された4名の従業員が、それぞれ担当の起業家の「伴走者」として支援に取り組みました。このプログラムに参加した従業員が「事業の運営者ではないものの、自分事のように考え、議論し、活動に取り組んでできました。プロボノ活動で得た人脈と経験を、今後の自社の事業や、ボランティア活動に活かしたいと思います。」とコメントするなど、起業家から積極性やチャレンジ精神を学ぶ良い機会になっています。



従業員も起業家支援の現場に参画

*: プロボノ: 会社の業務で培ったスキルを、それぞれの起業家の支援に生かす活動

支援対象起業家の成長に着実に貢献

東海若手起業塾に第1期生として参加した静岡県浜松市の「ヘアサプライPeer」代表者佐藤真琴さんが、抗がん剤治療などによる女性の脱毛をケアするビジネスで、第8回日本商工会議所女性起業家大賞の、スタートアップ部門特別賞を受賞しました。また、第2期生として参加した岩井万祐子さんが、経済産業省と農林水産省が共同で取りまとめた「農商工連携ベストプラクティス30」に選出、2012年6月には内閣府の「女性のチャレンジ賞」を受賞されるなど、東海若手起業塾の支援の成果は、起業家の成長に着実に繋がっています。